羽

羽合小学校　学校通信
平成27年4月20日　NO.6

できたらいいなあ

全校朝会で「できなければいけない」ことと「できたらいいなあ」ということについてこどもたちに話をしました。

「できなければいけない」こととは例えば時間を守ることやそうじのだいじ（**だ**まって・**い**っしょうけんめい・**じ**かんいっぱい）人の話を黙って聞くことなど、**できてあたりまえのこと**を指します。ただし、小学校では１年生から６年生まで在籍していますから、**できてあたりまえのことも学年によって違いはあります**。また、最初からあたりまえではありません。「どのようにしなければならないか、なぜ、しなければならないか」を説明し、できるように導く必要があります。

「できたらいいなあ」というのは、**それができるとみんながうれしくなること**を指します。例えば、にっこり笑顔であいさつできるとか、そうじで自分の分担が終わったあとに、他の人を手伝ってあげるとか、プリントを集める時きちんとそろえて提出するとか挙げるときりがないのですが、相手のことを思いやり気遣うこと、その**やさしい気持ちを行動で示す**ことができるとみんながうれしくなります。やるべきことはできていますからそれに加える＋α（ぷらすあるふぁ）の部分と言い換えることもできるでしょう。あいさつはできる、けれどにこやかにできるともっといいですよね。そうじでも、自分の担当をきちんと終えた後、終わってない人を手伝ったり、分担じゃないけれど汚れているところに気付いてきれいにできるのはすばらしいです。**＋αで**自分も人もみんながうれしくなります。

「できなければいけない」ことができるのは大切なことです。わたしたちの羽合小学校ではそれに加えて、**「できたらいいなあ」ということがあたりまえにできる**ことを大切にしたいと考えています。「あたりまえのことがあたりまえにできる」のはあたりまえです。**「＋αがあたりまえ」**のこどもたちを育てていきたいと思います。

そのためには「できてあたりまえのこと」はあたりまえに要求します。**できなければ注意も指導もします。**

「できたらいいなあ」ということは相手の立場になって考えさせ、表れた行動をとらえて評価することが大切です。評価というと堅い言葉ですが、**「いいね」「うれしいね」「すばらしいね」「すごいね」「よかったね」をわたしたちが積極的に使う**ということです。こどもたちに考えさせ、**積極的に評価しながらもっともっと＋αを引きだしていくことが「＋αをあたりまえ」にします**。保護者の皆さんと教職員でこどもたちを育てたいと思います。よろしくお願いします。

【参観日御礼】

１７日（金）の参観日、たくさんの方にお越しいただいて、こどもたちもはりきって学習に取り組みました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

羽合小学校　寺谷英則